

# 師範学校アーカイブズの現状と課題 -20世紀東アジアの教育と向き合う-

2017年11月18日(土) 9:30～17:15 / 東京学芸大学 S410教室

- 9:30 開会挨拶: 出口利定 (東京学芸大学長)
- 9:45 概要説明: 藤井健志 (東京学芸大学教授・大学史資料室副室長)
- 10:00 台湾におけるアーカイブズの現状と課題－師範教育史を中心に－  
楊思偉 (南華大学講座教授)
- 11:00 韓国におけるアーカイブズの現状と課題－師範教育史を中心に－  
鄭在貞 (ソウル市立大学名誉教授)
- 13:00 日本の教員養成史研究とアーカイブズの役割  
岩田康之 (東京学芸大学教授)
- 14:00 学芸大における資料収集の現状と課題  
小正展也 (東京学芸大学大学史資料室員)
- 14:30 データベース構築の現状と課題  
戎子卿 (東京学芸大学大学史資料室員)
- 15:30 コメント・全体討論  
君塚仁彦 (東京学芸大学教授・大学史資料室員)
- 17:00 閉会挨拶: 大石 学 (東京学芸大学副学長・大学史資料室長)  
司会・進行: 及川英二郎 (東京学芸大学教授・大学史資料室員)

お問合せ:

〒184-8501 小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学大学史資料室事務室

042-329-7896 shiryou@u-gakugei.ac.jp

※本事業は、平成29年度特別経費(プロジェクト分)  
－文化的・学術的資料等の保存等－による



Gakugei

## ご挨拶

本学では、平成27年度以来、文部科学省の助成を受け、「旧師範学校関係資料の保存とアーカイブズシステムの構築」を進めて参りました。師範学校を母体に創設された東京学芸大学にとりまして、近代日本の師範教育史を研究し、あわせて戦前・戦中の自校史を振り返ることは、今後の教育を考えるうえできわめて重要なことです。このたび、これまで進めて参りました資料収集とアーカイブズシステム構築の成果をもとに、国際シンポジウムを開催することと致しました。今回は、戦前の朝鮮半島や台湾での状況も対象に含めまして、教員養成史・師範教育史におけるアーカイブズの整備状況やその期待される役割を中心に議論を進めて参りたいと存じます。活発な議論が喚起されることを願います。

東京学芸大学長 出口利定

## 大学史資料室について

東京学芸大学大学史資料室は、2012年4月「東京学芸大学の歴史に関する資料の収集、整理、保存及び公開等を行う」(資料室規程)ことを目的に設立されました。今回のシンポジウムは、「平成27年度文部科学省特別経費(プロジェクト分)―文化的・学術的な資料等の保存等―」として認められた「旧師範学校関係資料の保存とアーカイブズシステムの構築」の3年間の活動の成果の一部ですが、この間、資料室員は、全国各地の師範学校アーカイブズを訪れ、データベース化してきました。本シンポジウムは国外の師範学校資料をめぐる議論ですが、あわせて御参照いただければ幸いです。また、芸術館では、11月14日～22日に、過去4年間の資料室展示会を集大成した記念展示会を開いています。こちらもどうぞ来場ください。

東京学芸大学大学史資料室長・副学長 大石 学

室員：  
大石学(副学長・教授)  
藤井健志(教授)  
君塚仁彦(教授)  
椿真智子(教授)  
及川英二郎(教授)  
服部哲則(講師)  
小正展也(専門研究員)  
戒子卿(専門研究員)  
村上恭二(事務室長)

## アクセス

### JR武蔵小金井駅 北口

5番バス停 京王バス「小平団地行」に乗車、「学芸大正門」で下車(約10分)  
又は6番バス停「中大循環」に乗車、「学芸大東門」で下車(約10分)

### JR国分寺駅 北口

銀河鉄道バス「小平駅南口行」に乗車、「学芸大学」で下車(約10分)

### 西武新宿線小平駅 南口

銀河鉄道バス「国分寺駅入口行」に乗車、「学芸大学」で下車(約15分)

